



# 飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

## “ロータリーに輝きを”

RI会長  
ゲイリー C.K.ホアン  
2570地区ガバナー  
坂本元彦

### 「行動，ACTION」

第2636例会 2015. 2. 25

—— 世界理解月間 ——

天候曇 (NO. 51-35)

会長 山川 莊太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中里(昌)君、中里(忠)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 山川会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 (蕨RC:会長) 菊地正浩様

#### 【会長報告】

先週は服部会員の卓話が短時間となり申し訳なかったと思っております。今後は時間配分に重々注意を払いたい。飯高チアダンス部渡米へのご寄付を有難うございました。



#### 【幹事報告】土屋(崇)副幹事

- ・3月ロータリーレート 1ドル=118円
- ・第10回理事会役員会 3/4、11時半～
- ・飯高チアダンス部からの御礼を配付

#### 【委員会報告】

◎50周年実行委員会

矢島(巖)君

第4回役員委員長会 3/11、18時～会議所。記念ゴルフコンペへの参加もよろしく。

◎飯能高校チアダンス部激励会 細田(吉)君

2/21生徒含め約200人で盛大に開催。校長より皆様によろしくとの事。米国でまた優勝したら、その時は倍の寄付をお願いするかもしれません。有難うございました。

【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
58名	6名	48名	82.76%	91.38%

#### 【M U】

2/17 (入間南) 沢辺君

2/22 (地区) 土屋(良)君

#### 【S A A報告】

◎ニコニコBOX

・飯高チアダンス部激励会が皆様のお蔭で盛大に出来、送り出す事が出来ました。心から御礼申し上げます。 細田(吉)君

・家内の誕生日プレゼント有難うございました。 川口君

・蕨ロータリークラブ会長・菊地正浩様、本日はようこそお出で下さいました。よろしくお願ひ致します。山川君、間邊君、小川君 土屋(崇)君、矢島(高)君、柏木君

・早退 半田君、大野君

本日計16,000円、累計額861,636円。

◎4日例会当番は中山、大木会員です。

#### 【卓話】

講師紹介 和泉プログラム委員長

菊地様はフリーライター、旅のジャーナリスト。柏木会員とも親交がありいろいろ寄稿なさっています。著書『和紙の里 探訪記』等、多数。

### 飯能の災害を考える ～避難所・下水道・災害トイレについて～

蕨ロータリークラブ 会長 菊地正浩様

11/8、蕨RC50周年記念事業で市民会館に700名程集め、災害時のトイレについてフォーラムをやりました。配付冊子はその時のものです。



和泉会員も出席されました。

〔プロジェクター使用〕

通常の避難場所、学校の体育館等に支援物資はこのように届き、これをコントロールしていくわけです。肝心なのはトイレ。仮設トイレが

1、2週間で避難所、グラウンドの隅に届くが、すぐ満杯になりクローズ。汲み取ら

なければ入れない。高齢者、障害者も入れない。「守れ」等の貼り紙。これが現実です。

「トイレが使えない」その時どうするか？ 我慢する、水分を取らない、そうなるとエコノミッククラス症候群、病状悪化で「関連死」です。災害の後の「関連死」は非常に問題視されている。水、食料、衣料と同じく「トイレ」は重要かつ深刻な問題。「生き残ったら生き延びて」欲しい。

「自助・共助・公助」では「自助・共助」が決め手。自治体の援助を待っているのは生き延びられない。それには個人と地域の連携がものすごく大切。特に高齢者、要介護者(外国人含む)、病人、障害者、妊産婦、乳幼児の把握が普段から大切になってくる。また、何を本当に備蓄したらよいか考える事。おむつ(大人・幼児・介護者)、携帯トイレ、簡易トイレ、生理用品。対策は「ハード」はもちろん「ソフト」面の充実、要するにコミュニケーションが重要です。

阪神淡路、能登半島、新潟中越、東日本と、総合的に考え、トイレの問題が重要だという事が分かってきて「災害対策基本法」にも真っ先に入った。水の確保と、水洗トイレが使えない時の初期対応の大切さが、広く知られる事となった。下水道、終末処理場が破壊されたら一切使えない事を認識すべき。3.11の6年前にトイレフォーラムをやっていた気仙沼ではうまく行った。

立川断層が飯能から青梅～立川～府中に至り名栗断層と断層帯を成す。33km。埼玉県に21ある消滅可能性自治体は、その半分が県西部にある。飯能市の下水道普及率は65.5%。下水道の「合流式」は雨水と一緒に処理場へ、「分流式」は雨水は川、汚水だけ処理場に行く。浄化された水は成木川に流す。災害時、下水道課がカメラを1つ持っており、市内下水道工事指定業者37社が全てを検査しOKとなったら流せる。問題は下水道の耐震化率。浄化センター隣の環境センターにはバキュームカーが2社20台あり、し尿を肥料にしたものは販売、80%の水は成木川に排水している。ペットのし尿は焼却場で行う。これが飯能市のしくみ。

問題は下水道が使えなくなった場合どうするか。危機管理室を中心に水道、下水道、道路公園、教育委員会、学校、PTA、社協、民生委員等、それぞれ対策を立てているが「公助」だけを頼りにしていると広いので7日経っても難しいのではないかと。「自助・共助」自治会単位で飲料水とトイレの対策を取らないといけない。排泄場所と方法、携帯トイレを可燃ごみとして出す時どこへ集めるか等、いろんな問題があるので普段から考えておくべきです。指定避難所は市内に62か所。小学校14、中学校8、高等学校2、等。トイレの数が問題。男女の別、洋式か和式か、どれだけの人がそこで過ごせるのか。障害者の人は？…そういう事を普段からやっておかないと「避難所」とは言えない。ただ「集まる場所」です。「福祉避難所」が34か所あり、最終的にはそ

こへ集めれば良いが、当初は(最寄りの)避難所に誰かが連れて行かざるを得ない。トイレの問題はすぐに発生します。

気仙沼市立階上(はしかみ)中学校では毎年、避難所の運営に関する教育を熱心に行っていました。3.11で避難所の1000人の人を全部取り仕切ったのが中学生だったのです。如何に「青少年教育」が必要かという事です。私共のクラブでも社会奉仕をいろいろやりましたが、最後行きつくところは「青少年教育」です。教育委員会を動かして、学校で災害対策の教育をやっていきます。今年30万円の予算を皮切りに訓練を開始。大人ではダメなのです。子どもに教えれば家に帰って大人に話す。このしくみが今度の東北で分かりました。今後、飯能市ではどうあるべきかを、社会奉仕委員会でも考えて頂いて、どうやって取り入れていくかというのをやって頂くと、私も「日本トイレ研究所」のメンバーとして非常に有難いと思っております。

### 《手漉き和紙》について

2/11小川町で和紙の世界文化遺産登録記念式典(東秩父村・小川町共催)。『和紙の里 探訪記』を2年前に出した私も呼ばれました。「細川紙」は東秩父のお坊さんが高野山で修行した帰り、麓の10村のうちの細川村に入り、紙を漉く技術を盗みとって帰ってきたもの。かつて飯能・名栗は小川・東秩父より和紙が盛んで3倍は漉いていたのだが紙を漉くより材木の方が江戸でお金になるので高麗も含め和紙が無くなってしまった。小川町では観光客が1.5倍に増えたとの事です。

(再び震災について) 日本でどうしてロータリークラブが「34地区」「約9万人」とこれだけ大きくなったか。これは南相馬市、国道6号線沿いにあった「無線塔」10分の1のモニュメント(ライオンズクラブが建立)。太平洋を越えて米国と通信する目的で大正10年、逓信省が建てた201.16mの「無線塔」は東京タワーが出来るまでは東洋一だった。大正12年9月、関東大震災。海外への第一報はここからホノルルを経由してサンフランシスコに打電された。国際ロータリー・シカゴ本部から東京RCに義援金約30億円が振り込まれ、帝国ホテルでの昼食会くらいだった東京クラブの経済界のリーダー達は驚いて、RCを研究し奉仕活動に目覚める。やがて大阪、名古屋、京都、横浜と拡大。1940年に一度脱会、1949年に復帰します。「無線塔」は昭和8年に発信停止、以後は記念物として保存。S60年、解体か補強かで4年間論争したが撤去された。

常磐線は仙台から出て「原ノ町」駅で終点。駅前にRC寄贈の時計塔。水戸からは「竜田」駅までしか行っていない。「閑上」はかまぼこで有名。「今は山中 今は浜」…「汽車」で有名な「広野」。終末処理場が壊され水洗トイレが使えるようになるまで2年かかった。下水道が破壊されたら何も出来ない。3/1全線開通の常磐自動車道、「常磐富岡」で降りても誰も居ない。役場前には汚染物質が山積み。「死の町」です。原発交付金で出来た立派なトイレ。誰も入らない。常磐自動車道の一部は5.5マイクロシーベルト、一切停まってははいけない。国道6号も信号は全て黄色の点滅。脇道へは入れない…

「この福島をどうしたらいいですか」。東大の一部の学生達がチェルノブイリのダーク・ツーリズム・ガイドを真似て「観光地化計画」をしています。

皆さんはどうお考えになるでしょうか。